

中里北部地区 社協だより



第34号

平成19年2月1日

発行責任者 井戸川 妙

年頭にあたって

中里北部地区社会福祉協議会 会長 井戸川 妙



明けましておめでとうございます。

平成19年の輝かしい新年を迎えられ、皆様には、
益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

日頃より、社会福祉協議会の運営にご理解とご協力を
賜り誠にありがとうございます。

昨年は、過去最長のイザナギ景気を越えたと言われましたが、私達にとってはその様な実感はなく厳しい1年でもありました。

一方、新聞やテレビの報道には悲しい事や悍ましい事ばかりが目^{おぞ}に写りました。

このような中で昨年9月6日には、秋篠宮様ご夫妻に待望の男児「悠仁様」がご誕生になり、国民が感動と明るい話題に包まれたのが何よりでした。これからは宮様に、元気にすくすくにご成育されることを祈念するところであります。

中里北部地区社会福祉協議会(以下当会という)は、昨年5月に定期総会を開催し、年度事業計画のご承認を頂き、各部会のご協力で「福祉祭り」「春・秋の旅行会」「すこやかお食事会」「ふれあい中里北部」「春の花見・秋は運動会(中里北部連合町内会と合同)」また「ふれあい部会」では主として子育て支援を(原則として毎月第4水曜日)実施、「社協だより」発行などなど、当会の運営も順調に推移しております。



さて、近年は特に新聞記事やテレビ番組の社会面の報道には目を覆いたい様なことが多すぎませんか？特に若年層や高齢者に被害者や加害者になり得る様なことが目立ちます。

この様に荒廃した世相になったのはなぜか考える必要があるのではと思います。

私が思うに先ず、教育問題(家庭・学校教育)に何か1つ欠けているのではないかと思います。家庭では親が、学校にあっては先生が子どもに接する態度が甘すぎるように思います。学内で先生と子どもの関係(外から観ると)は、まるで友達かの様な印象に写ります。この様な関係で子どもたちに善・悪を正しく教える事が出来るのかと疑問に思います。

昭和の初期に生まれた私は、少年期には戦争による悲慘を経験し、そして青年期には敗戦後の荒廃した日本を今日の様な豊かな国(あの悲慘な戦後を顧みて)を復興した日本人の底力を実感し、そのような日本を私は誇りに思っております。

隣人愛を念頭にこの1年、地域の福祉活動に努力を惜しまず邁進する覚悟であります。



どうか、皆様方のご協力を賜ります様お願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の益々のご多幸を祈念いたし年頭のご挨拶と致します。



年末助け合い募金



平成18年度の年末助け合い募金には、中里北部地区の皆様的心温まる善意の募金を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

特に、各町内会・自治会役員の皆様には、ご尽力いただきました事を深く感謝申し上げます。

おかげ様で右記のような多額の募金を頂戴いたしま

した事は、皆様の社会福祉に対する深いご理解とご協力の賜物と思います。

ご協力ありがとうございました。

(12月末日現在)

町内会・自治会名	募金額(円)
たちばな台町内会	328,483
たちばな台西自治会	70,000
たちばな台東自治会	12,600
鴨志田町内会	272,951
鴨志田緑自治会	80,150
グリーンヒル鴨志田東団地自治会	36,390
グリーンヒル鴨志田西団地自治会	131,200
グリーンヒル鴨志田中央団地自治会	8,400
横浜市営鴨志田住宅自治会	18,600
寺家町内会	57,200
たちばな台ガーデンハウス自治会	9,300
たちばな台緑自治会	19,000
合 計	1,044,274

子育てふれあい広場



たのしみな「子育てふれあい広場」に来てね

中里北部地区社会福祉協議会 事務局長 関戸 博雅

「また、来てね!」「よく来てくれました。」「毎日、散歩や公園に外出している。」「ここでお友だちを作ったり、いろんな情報やご苦勞ぶりを伺ったりしていると、楽しいというか肩の荷が下ります。」「悩み相談の場にもなる。」「家事・育児を手伝ってくれるご主人の話に羨ましくなったり、苦情、お喋りしたりするだけで、ほっとする。」「……と。



他の子育て真っ最中の親御さんと出会っただけで、何かほっとするのですから、この広場の役割は非常に大きくなっていて大変人気があります。平成15年3月から始めて、約4年になります。毎年180組、毎回15組前後来られてとても賑やかです。

毎回スナップ写真を撮って、次回に渡していますが、「わあ!素晴らしい!」と、親子で喜んでくれるのも嬉しいです。



鴨志田第一小学校一年生の合奏・歌を楽しむ



皆さんとの交流の一コマ

今、子育て支援が全国版で実施されていますが、案外知られていないところで、宣伝の違いが地域的に現れています。近隣の人とのふれあいのために、育児ノイローゼの予防に、大いに利用、宣伝していただきたいと切望しています。少子化・核家族の社会問題の解決にも実際役立っているのがこの広場だと思います。「理屈ぬきに、まず参加してみよう。」と呼びかけたいのです。おもちゃ、ぬいぐるみも沢山あります。お遊び・お歌もやっています。

幼児にべったり張り付いた育児三昧から肩を軽くして、気楽に、すこし離れて我が子を見守れる親になりたいですね。

毎月(8月は除く)第4水曜日、午後1時30分～3時30分までの2時間、(鴨志田第一小学校内)鴨志田コミュニティハウス(2階)研修室でやっています。民生委員児童委員さん、主任児童委員さん、6～7人で運営しています。参加費は一組100円(茶菓子・保険料等)で予約なしの自由参加です。2月は28日に実施予定です。ぜひ、来てみてください。

すこやかお食事会



地域の65歳以上で、お一人暮らしの方と77歳以上の方を対象に、鴨志田地域、アプラザ多目的ホールにて隔月行われています。

毎回30名～40名ぐらいの方が出席されます。



ある日の「すこやか食事会」に参加してみました。○お昼には、ボランティア・トゥギャザーの方々が作られたお食事(下記写真の献立は、ご飯・袋煮・鯖とトマトの餃子・だしまき卵・切り干し大根と里芋の煮物・青菜のおひたし・香のもの・味噌汁・里芋の茶巾・煮魚)をいただきました。○健康コーナー(元気なお年寄りになりましょう)では、青葉区福祉保健センターの方の、健康に関するお話(この日は、下記写真のような軽い体操)があり、健康に毎日を過ごせるようなヒントをいただきました。○全員でビンゴゲーム(賞品あり)を行いました。○楽器(ハーモニカ、琴、大正琴など)の演奏にあわせて「青い山脈」などを一緒に歌い(15～20曲ぐらい)ました。

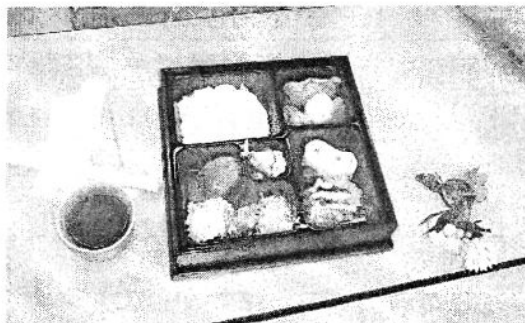


この様に盛りだくさんの楽しい内容でした。

3月23日(金)(午前11時30分～午後2時30分)に、本年度最終の「すこやかお食事会」が計画されております。ご案内がありましたらぜひご出席ください。



みんなで、グー・チョキ・パー



カラー写真でないのが残念